

K N O  
 小野澤繁雄  
 布宮 慈子  
 河村 郁子

咲き盛る桜に雨のそば降りて戦の報せのこもごも憂ふ  
 4月23日 K

米沢に下って走る数年をここにくらししあれこれを聞く  
 4月26日 O

メーデーといふ日があれば誘はれて集会に行きき子の手を引いて  
 5月1日 N

七〇年前高校生の時なりきマルキシズムにあくがれるたり  
 5月4日 K

草のびて残りしところなおみちで春のみちゆく青年腕振る  
 5月9日 O

友人の蕨畑に入りてより夢中になりぬ蕨つんつん  
 5月16日 N

庭師来て松の穂刈りつつこの年は草木の繁り盛んと言へり  
 5月17日 K

庭の人と鉢のアジサイかぐや姫の話しそれから多くに及ぶ  
 5月21日 O

山形の辻に祀らるる霊石の隣の紫陽花つぼみは固し  
 6月1日 N

テレビには登山電車に触るごと紫陽花今を盛りと咲きゐる  
 6月5日 K

板東十一番ここの三重塔の關係に今はテレビにみる源範頼  
 6月8日 O

テレビには頼らぬ日々を送りきて十年が過ぐ今の安らぎ  
 6月16日 N

武蔵野三十三所の観音巡礼思ひ立つなり菩提寺がその一番なれば  
 6月21日 K

鎌倉の寺の感じはアジサイのいくつかながら比企郡宗悟寺  
 6月25日 O

おそらくは梅雨明けしたとふ山形の赤紫のあぢさゐの色  
 6月30日 N

梅雨明け後の猛暑に耐へし紫陽花が豪雨も慈雨とうなづくごとし  
 7月18日 K

大雨のあとは決まって川にくる村の大人もしていたことに  
 7月21日 O